

福岡空港の総合的な調査に係る
PI活動(ステップ2)の実施状況レポート

実施状況把握を行った者	福岡空港調査PI有識者委員会委員 山本 智子
-------------	------------------------

日時・場所	日時：平成18年 7月14日 16時～18時
	場所：福岡市中央市民センター
PI活動の種類	グループヒアリング
所見 (アドバイス等)	<p>① ステップ1で不足していた、女性に的を絞った少人数での活動として、評価できる試みであった。</p> <p>② 居住地区・空港利用歴・年齢層が多様であったこと、全く知らない者同士が各自意見を述べる雰囲気づくりに努力がみられた。</p> <p>③ 司会がソフトで、話しを引き出すのに貢献していた。</p> <p>(アドバイス)</p> <p>(1) PI活動のスタッフのうち、最低 1/3 は女性スタッフを入れるよう、今後スタッフの養成や人事の配慮が必要であると考え。活動スタッフ(特に説明を行う中心スタッフ)が全員男性というのは、今回、やはり異様であると感じた。</p> <p>(2) 円卓でのミーティングの場合、スタッフが横の別テーブルではなく、円卓の中に交互に入る等、説明する側・聞く側という分離した印象の配置は好ましくないと思う。説明も前説明が長くなり、今回の主眼が参加者に当初理解できないようであった。</p> <p>(3) 利用者からの一般的意見として、近くて小ぶりな空港で便利だからこのままであって欲しい、でも予約が取りにくくなったり発着時の待ち時間が長くなるのは困るという相矛盾する循環型の意見に集約されがちな点は、将来の需要予測という今回のステップ2の目的上、どのような意見として取り扱って行くのか、今後の検討課題ではないかと考える。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>

福岡空港の総合的な調査に係る
PI活動(ステップ2)の実施状況レポート

実施状況把握を行った者	福岡空港調査PI有識者委員会委員 石田 東 生
日時・場所	日時：平成18年7月 21日 10時～12時 場所：福岡空港ビル3階 待合室D・E
PI活動の種類	懇談会（空港関連事業者、空港利用企業・団体）
所見 (アドバイス等)	<ul style="list-style-type: none">・ 航空会社、交通事業者、ターミナルビル関係者が参加した懇談会であり、日常業務を通しての需要動向の印象・将来予測に向けての感想など、かなり専門性の高い議論がなされていた。・ 説明は丁寧でわかりやすく、また対話・議論をしたいという姿勢が福岡空港調査連絡調整会議側の説明員にみられたことは好印象であった。これもかなり突っ込んだ議論ができたことの好影響であろう。・ 反面、これらの色々な意味でのよい議論が、市民と共有できなかったことは少し残念である。参加者の意向も十分勘案しての出席者構成であろうが、もう少し、多様性への配慮があってもよかったと考える。・ 出席者の多様性への配慮と、懇談内容の速やかな公表・共有化を是非工夫していただきたい（提案）・ さらに、出席者の一部から、資料の事前配布を強く求める要望があった。単に事前に資料を読んでくれるだけでなく、会社・協会代表という立場からすると意見集約のための時間も必要、という当然の意見であるので、ぜひ対処していただきたい（提案）。

福岡空港の総合的な調査に係る
PI活動(ステップ2)の実施状況レポート

実施状況把握を行った者	福岡空港調査PI有識者委員会委員 竹林 幹雄
日時・場所	日時：平成18年 7月 21日 10時～ 12時 場所：福岡空港ビル3階 待合室D・E
PI活動の種類	懇談会（空港関連事業者、空港利用企業・団体）
所見 (アドバイス等)	<ul style="list-style-type: none">・ GDP と旅客数の関係など、需要に関する肝心な部分での説明が不十分であるという印象を受けました。・ 事業者中心の会議であったため、議論が活発だったと思います。ただ、同じ業種の方が多かったため、同じような意見が多かったような印象を受けました。できるだけ異業種の方で構成した方がよいと思われます。・ 需要分析という言葉が一人歩きしないよう、どういう仮定で予測しているのかをできるだけ丁寧に説明されることを望みます（難しいことですが）。特に、10年後、20年後の値というのはあくまで参考値という形で提示される方がよいと思います（長期にわたる予測は最近は非常に難しいのです）。

福岡空港の総合的な調査に係る
PI活動(ステップ2)の実施状況レポート

実施状況把握を行った者	福岡空港調査PI有識者委員会委員 石田 東生
-------------	------------------------

日時・場所	日時：平成18年 7月21日 13時～14時
	場所：天神 三越ライオン広場
PI活動の種類	オープンハウス
所見 (アドバイス等)	<ul style="list-style-type: none">・ 展示をじっくり見れば、ポスターそのものはよく考えられていて、わかりやすい。ステップ2に直接的に関係するものだけでなく、空港の機能・施設などを説明したパネルも効果的であったと思う。・ 場所も天神ターミナルという人通りの多い一等地であり、PIのための情報提供を行っていること自体は認識されていると期待でき、その意味では効果はあろうかと思われる。・ しかし、じっくりと見る人は少ないように思われるため、アピール力をさらに発揮できる展示方法などを検討する必要もあるのではないか。

福岡空港の総合的な調査に係る
PI活動(ステップ2)の実施状況レポート

実施状況把握を行った者	福岡空港調査PI有識者委員会委員 石田 東生
-------------	------------------------

日時・場所	日時：平成18年 7月21日 14時～15時
	場所：九州産業大学
PI活動の種類	パネル展示（大学構内）
所見 （アドバイス等）	<ul style="list-style-type: none">・ 展示はステップ2に直接的に関係するものだけでなく、空港の機能・施設などを説明したパネルもあり、効果的であったと思う。・ 大学の本部等ロビー内のパネル展示は、次世代を担う大学生にターゲットを絞った企画であり、その狙いはよかったと思う。・ しかし、問題はじっくり見る人が非常に少ないようである。品位を失わない範囲で、アピール力の発揮など展示方法などに工夫が必要ではないだろうか。

福岡空港の総合的な調査に係る
PI活動(ステップ2)の実施状況レポート

実施状況把握を行った者	福岡空港調査PI有識者委員会委員 杉尾 政博
日時・場所	日時：平成18年 7月24日 10時～12時 場所：福岡市役所15階会議室
PI活動の種類	懇談会（市民団体・NPO）
所見 （アドバイス等）	<p>事務局の資料説明は回を追うごとに上手になっている。ただ、資料説明とそれに対する質疑を中心とした構成となっているため、懇談会と説明会との違いが明らかでないと思う。</p> <p>（アドバイス）</p> <ol style="list-style-type: none">1. 出席者の構成は、より横断的な立場の方々を集めるなどの工夫が必要ではないか。2. 司会進行では、テーマ項目ごとの議論を促すなどの工夫が必要ではないか。3. ステップ1の結果についての簡単な資料を用意して、今回のステップ2との関連を明らかにしておく必要があるのではないか。

福岡空港の総合的な調査に係る
PI活動(ステップ2)の実施状況レポート

実施状況把握を行った者	福岡空港調査PI有識者委員会委員 山本 智子
日時・場所	日時：平成18年 7月24日 14時～16時 場所：福岡市役所15階会議室
PI活動の種類	懇談会（空港関連事業者、空港利用企業・団体）
所見 (アドバイス等)	<p>① ステップ1から継続している参加者が多く、PI活動の実効性を考えるうえでも、有益であった。</p> <p>② 前回の参加者の意見を、事務局がフォローしていることが、参加者のPI活動への信頼に繋がることが推察された。</p> <p>(アドバイス)</p> <p>(1) パンフレットの内容を詳細資料で確認する場合、今回のパンフレットの付記方法では判りにくいと思う。次回にはより工夫することで議論を進めやすくなるのではないかな。</p> <p>(2) 資料の説明が少し詳しすぎるので、ポイントを絞って説明する工夫があれば、質疑応答時間がもっと取れるのではないかなと思う。</p> <p>(3) 空港と環境問題・建設費と住民負担問題はよく質問されることであり、今後もあると思う。この問題の関する部分をすでに作成した詳細資料で、横断的に説明する機会があっても良いのでは</p> <p style="text-align: right;">以上</p>

福岡空港の総合的な調査に係る
PI活動(ステップ2)の実施状況レポート

実施状況把握を行った者	福岡空港調査PI有識者委員会委員 土井良 延英
日時・場所	<p>日時：平成18年 7月26日 14時30分～ 16時20分</p> <p>場所：アクロス福岡1階円形ホール</p>
PI活動の種類	説明会
所見 (アドバイス等)	<p>(所見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 一般の住民に対する説明会の会場としては、場所（福岡市の中心）、会場の形（一般聴衆席が舞台を中心に円形）、会場の広さの面等で大変適したものであったと思う。 ・ 第1ステップ同様に、PIおよびその今回のステップについて参加者の理解が不十分なまま進められたという感じは否定できない。このため、参加者の質問や意見が今回ステップの範囲を超え、しかも自説の主張になっても司会者が制御しにくい雰囲気になっていた。ただ、今回は質問の回答という形であったが、福岡空港調査連絡調整会議事務局の担当者がPIの目的、PI各ステップについての明確な説明を行っていた点は前ステップより評価できる。 <p>(アドバイス)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 福岡市中心での説明会開催の趣旨を考えれば、もう少し多くの、幅広い層（年齢、男女）の一般市民の参加が望まれる。そのためには土・日と平日の複数開催等できるだけ多様な人が参加できる日時設定や気軽に参加できるような雰囲気づくり等の工夫が更に必要である。 ・ 県外からの参加者から同様の説明会を県外でも行って欲しいとの意見が出ていたように、福岡空港の役割を考えると説明会の開催エリアはもう少し拡大されてもよい。

福岡空港の総合的な調査に係る
PI活動(ステップ2)の実施状況レポート

実施状況把握を行った者	福岡空港調査PI有識者委員会委員 土井良 延英
日時・場所	日時：平成18年 7月 29日 10時30分～10時45分 場所：ザ・モール春日
PI活動の種類	オープンハウス
所見 (アドバイス等)	(所見) ・ 会場はザ・モール春日のメインの入口に通路を挟む形で設営されており、通る人は必ず目にするようになっていた。これまでいくつかのオープンハウスを見てきたが、今までの中で一番PI実施者の積極的な姿勢が感じられた。PIの目的を達成するにも、このような積極的な姿勢を見せることが必要であると思われる。

福岡空港の総合的な調査に係る
PI活動(ステップ2)の実施状況レポート

実施状況把握を行った者	福岡空港調査PI有識者委員会委員 杉尾 政博
-------------	------------------------

日時・場所	日時：平成18年 7月31日 13時30分～
	場所：エルガーラ大ホール
PI活動の種類	PIシンポジウム
所見 (アドバイス等)	<p>多くの市民が興味を持って参加していたようである。福岡空港の総合的な調査への市民の関心を喚起できていると考える。</p> <p>しかし、シンポジウムの進め方等には、今後改善の余地があると思う。(具体的には以下のとおり)</p> <ol style="list-style-type: none">1. パネリストの発言や表現にはコーディネーターの問いかけやテーマとかみ合っていない部分もあると感じた。多忙な時間を割いて参加した人たちのためにも、議論の進め方などについて、より一層の工夫、準備を行う必要があるのではないか。2. シンポジウムのテーマである「地域の将来像」と「空港の役割」の2つについて、テーマ項目ごとの議論を促すなどの工夫が必要ではないか。

福岡空港の総合的な調査に係る
PI活動(ステップ2)の実施状況レポート

実施状況把握を行った者	福岡空港調査PI有識者委員会委員 山本 智子
-------------	------------------------

日時・場所	日時：平成18年 8月1日 14時30分～16時
	場所：のがみプレジデントホテル
PI活動の種類	説明会
所見 (アドバイス等)	<p>① スライドを利用した点は、口頭での説明のみより、参加者の理解を得やすいと思う。パワーポイントによる、要約版での提示だとさらにわかりやすいと思う。</p> <p>② 意見を出しやすくするため、質問を角度を変えて行う工夫はこれからも続けて欲しい。</p> <p>(アドバイス)</p> <p>(1) 都市圏でない場所での開催の場合、当該開催地との関係性を議論に盛り込む(空港アクセスはどうしているか、どのようなアクセス方法が望ましいか等)ことで、参加者の興味と意見を引き出す方法もあるのではないかと。</p> <p>(2) 資料の説明が少し詳しくすぎるので、参加者の構成に応じた臨機応変なポイントの絞り方をすれば、意見が出しやすいのではないかと。懇切丁寧・間違いなくをあまり意識すると、一方的に説明することになりがちだと感じた。また、統計上の専門用語は避けて欲しい。</p> <p>(3) 全体に参加者に今回の問題との接点を見出せない雰囲気があり、都市圏以外の地域住民で、空港利用頻度の少ない住民も空港に関連する経済効果(負担を含めて)を受けるので、意見をどのように出してもらい反映させるのかは、今後課題であると考えます。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>

福岡空港の総合的な調査に係る
PI活動(ステップ2)の実施状況レポート

実施状況把握を行った者	福岡空港調査PI有識者委員会委員 土井良 延英
日時・場所	日時：平成18年 8月 2日 10時～ 12時 場所：福岡市役所15階会議室
PI活動の種類	懇談会（空港関連事業者、空港利用企業・団体）
所見 （アドバイス等）	<p>（所見）</p> <ul style="list-style-type: none"> 今回の参加者は地元の経済団体、運輸関連の企業等、福岡空港問題に関心が強いと思われる企業の担当者であったので、それぞれの専門的な立場からより突っ込んだ質問が多く出された点、それらの質問に対し福岡空港調査連絡調整会議の担当者からもより専門的な回答が明確になされた点等、有識者委員会の委員にとって有意義な傍聴となった。 <p>（アドバイス）</p> <ul style="list-style-type: none"> 懇談会では今回のPIレポートについて、専門的な質問が出されたほか、PIレポートそのものについて高く評価する意見も出されている。一般住民がPI活動の実質を知る上で大変参考になる意見、質疑応答が多いので、そのような意見、質疑応答を何らかの方法で一般の住民の意見等とは区別してある程度詳細に公開してはどうかと思う。

福岡空港の総合的な調査に係る
PI活動(ステップ2)の実施状況レポート

実施状況把握を行った者	福岡空港調査PI有識者委員会委員 杉尾 政博
-------------	------------------------

日時・場所	日時：平成18年 8月 9日 14時30分～
	場所：久留米市役所2階くすみホール
PI活動の種類	説明会
所見 (アドバイス等)	<p>説明会としては、事務局の説明も上手であり、まずまずの成果であったと思う。しかし、以下に挙げる課題もあった。</p> <ol style="list-style-type: none">1. 説明会においては、様々な参加者がいることが望まれるため、より広い立場の市民の参加を諮るための工夫が必要ではないか。2. 質疑では、質問者の所属団体などを発言させるべきではないか。3. 回答が長く、質問と多少のズレを感じることもあった。要点を押しさえテキパキと分かりやすく回答してほしい。

福岡空港の総合的な調査に係る
PI活動(ステップ2)の実施状況レポート

実施状況把握を行った者

福岡空港調査PI有識者委員会委員 石田 東生

日時・場所	日時：平成18年 8月 10日 14時30分～16時 場所：大野城市まどかぴあ中ホール
PI活動の種類	説明会
所見 (アドバイス等)	<ul style="list-style-type: none"> ・ お盆休み直前の平日の午後にもかかわらず、50人以上の参加者があり、質疑も活発であった。会場のコンパクトさによるところが大きいかと思うが、適度な密度感も好感が持てた。会場選択の重要性を示していると思う。 ・ 会場へのアプローチにパネルが展示され、参加者が自然に見るようになっていたことも評価できる。 ・ ステップ1の説明会に比べて、説明や質疑応答が随分こなれて、良くなっていると思う。しかし、ステップ1におけるPIの成果とそれらが現時点でどのように活用されているかについての説明が必ずしも十分でなく、PIに本質的な双方向性、ダイナミックさの印象が弱かったのが残念である。 ・ また、需要予測に関する質疑はほとんどなく、需要予測モデルや結果をどう考えるについての説明と課題認識の共有化の難しさを改めて認識させられた。需要予測はやはり非常に重要なパートである。そのことを福岡空港調査連絡調整会議としても認識しているので、すべての情報(データ、モデル等)を公開しているのであろう。このこと自体は高く評価できる。情報公開こそが透明性と信頼性の源であるからである。 ・ しかし、単に公開するだけではなく議論を喚起する仕掛け、例えば多少の専門的知識を備えた第三者(NPO、種々の活動団体等?)を交えてじっくりした議論を行い、そこでの議論概要の公開提供が、需要予測のさらなる信頼性と透明性の向上にとって有用であると考えがいかがであろうか(提案)。 ・ 需要予測に関するいくつかの質問があった。国際航空旅客が全国の伸びに比べて、福岡ではそれほどのびていないことの理由とそれを需要予測にどう反映させるかというコメント、アクセス交通の改善による近隣空港との連携方策の効果などである。これらは、政策変数として設定できる変数が現時点ではきわめて限られていて、ほとんどが航空会社の経営上の判断に影響されるので、予測が難しいところではあるが、過去の需要動向の分析などを踏まえた回答なども工夫されるとさらに良かったと思う。

福岡空港の総合的な調査に係る
PI活動(ステップ2)の実施状況レポート

実施状況把握を行った者

福岡空港調査PI有識者委員会委員 石田 東生

所見
(アドバイス等)

PIレポートは詳細版も概要版も工夫されておりよくできていると思うが、以下の点が残念であった。ステップ3においてさらに改善されることを期待して、以下に感想を記す。

1. ステップ1においてコミュニケーションの結果得られた成果、特に、もっと知りたい点、表現の方法など、ステップ2の資料の内容と表現方法に関するアイデア・ポイントはかなりの数が得られたかと思うが、そのことについての記述が少ないようである。PIプロセスにおいては多種多様の主体間のコミュニケーションによる成果が明示的に示されて、そのことによって議論が触発され議論の質と程度が向上していくと考えるが、そのようなダイナミックな構成と内容に必ずしもなっていない。むしろ、福岡空港調査連絡調整会議から市民への一方的情報伝達手段としてPIレポートが認識されかねない構成になっていて、残念である。ステップ3では善処されたい。
2. ステップ2は地域将来像とそれに基づいた需要予測が主対象となるステップであるが、PIレポートを読む限りに於いては、両者の連携は記述されていない。地域の将来像は複数提示されているが、そのことが需要予測の前提条件にどのように反映されているのか、されていないのか不明であり、ステップ2として両者を同時に議論することの意義と意味が必ずしも明確でない。やはり、議論した結果、共通的期待として定められた将来像から需要予測の前提条件が導かれる、あるいは少なくとも明瞭に関連づけられる需要予測のプロセス、議論のプロセスが必要ではないだろうか。